

学校規模の適正化・適正配置に関する保護者アンケート〈白山小学校〉

学校規模の適正化・適正配置について保護者アンケートを実施しますので、ご協力をお願いいたします。なお、アンケートの集計結果は、PTA 会員の皆様にお知らせします。

※別紙アンケート資料をご覧の上、全ての質問にお答えください

※該当する箇所を○で囲むか、記入をお願いします

※記入したアンケートは、**6月5日（木）までに封筒に入れて学校に提出**してください

1 あなたがお住まいの町名を教えてください。

松原町 嬉石町 大平町

2 小学生・中学生のお子さんの学年を教えてください。（複数回答）

【小学生】 1年、 2年、 3年、 4年、 5年、 6年

【中学生】 1年、 2年、 3年

<白山小学校の統合の時期について>

市教育委員会は、基本方針に基づく学校規模適正化・適正配置推進計画の策定に取り組んでいます。計画期間は令和7年度から14年度までの8年間と考えています。

基本方針において小学校の学校規模は6学級以上を基準としており、子どもたちの教育環境の充実のために、複式学級の解消に向けた取組が必要です。

白山小学校は、今後も複式学級の継続が見込まれるため、学校統合を進めていきます。

3 あなたは、白山小学校の統合時期はいつがよいと考えますか。

- ① できるだけ早く（～令和9年度）
- ② 新入学児童が0人となる前に（令和10～11年度）
- ③ 令和12年度以降

<白山小学校の統合先について>

白山小学校の統合先については、同じ大平中学校区で学校行事でも交流がある平田小学校、または近隣の中学校区にある釜石小学校として検討してきました。

平田小学校と統合した場合は、少なくとも10年以上は6学級以上で継続しますが、釜石小学校と統合した場合は、令和14年度には複式学級が予測されており、他の小学校と統合になる可能性があります。

また、PTAの皆さんとの意見交換では、中学校の統合を見据えて、統合先を双葉小学校とする案、白山小学校と釜石小学校と双葉小学校の3校が統合する案もご提案いただきました。

市教育委員会ではこれらの案について検討し、次の理由から平田小学校との統合を最有力案として考えています。

- ・複式学級の解消を早期に進めることが可能であること
- ・小学校同士で交流が行われていること
- ・統合後の学校規模が、6学級以上確保できる見通しであること
- ・児童が小学校在学中に2回以上、学校統合を経験することがないこと

なお、統合によって遠距離通学（おおむね2.6キロ以上）となる児童については、スクールバスの運行を考えています。

※中学校については、計画期間の後期（令和11年度～14年度）に釜石中学校、大平中学校、甲子中学校、唐丹中学校の4校の統合を検討しています。使用する校舎は釜石中学校を想定しています。ただし、4校の生徒が釜石中学校に入ることができるのは、令和14年度以降と見込んでいます。

4 あなたは、白山小学校の統合先はどちらが望ましいと考えますか。

- ① 平田小学校
- ② 釜石小学校
- ③ 分からない
- ④ その他 ()

<中学校について>

市教育委員会は、中学校の学校規模を確保（各学年 3 学級以上）するため、計画期間の後期（令和 11 年度～14 年度）に釜石中学校、唐丹中学校、甲子中学校、大平中学校の 4 校を統合し、統合後の校舎は釜石中学校を使用することで検討しています。

釜石東中学校は存続し、釜石中学校と釜石東中学校の市内 2 校体制を検討しています。

統合によって遠距離通学（おおむね 4 キロ以上）となる生徒については、スクールバスの運行などを考えています。

5 市教育委員会で検討中の中学校の再編案について、ご意見がありましたら教えてください。



<学校統合全体について>

6 学校を統合する場合、心配なこと、配慮してほしいことは何ですか。

例) スクールバスの運行の配慮

子どもが新しい環境や人間関係に馴染めるかが心配 など



7 学校統合に関して、ご意見、要望などご自由にお書きください。



ご協力ありがとうございました。